

# 研究会備忘録

No.

5

研究グループ	□ 効率性研究グループ	■ しくみ研究グループ
日時	平成19年6月27日(水) 17:00~19:30	
会場	新館4階 424会議室	
出席者	岩下、小河、佐藤、團野、前田、山下、和田	
内 容		
テ ー マ	コ メ ン ト	
○これからの研究の進め方について	<p>岩下) 今後の研究にあたっての提案</p> <p>前回の会議において、研究の進め方ができてきたので、それに基づき、自分なりに研究の進め方について資料を作成したので、それを提案し、皆さんで議論していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住民目線」で研究を進める</li> <li>・道州制の住民への周知(メリット、デメリット)をどうするか</li> </ul> <p>そのために、まず、現在の“まちのしくみ”及び“市民力”(NPO、ボランティア等)などの状況を把握する必要がある</p> <p>⇒各種アンケート(市民満足度アンケート、コミュニティ構想策定アンケート等)の分析</p> <p>⇒関係各課への聞き取り・アンケート</p> <p>佐藤) これまでのアンケートの内容は漠然としているものもあるので、より突き詰めて考えていく必要がある。</p> <p>岩下) アンケートではある程度詳細な結果が出ているものもあるが、いずれにしても、今の状況では、これらのアンケートをベースに把握していくしかない。</p> <p>前田) アンケートから分かる範囲で現状を把握し、その把握したものを自分たちで細かく考えていけばいいのではないか。</p> <p>團野) コミュニティ構想策定のアンケートはコンサルがある程度分析している。</p> <p>山下) その分析による報告書のキーワードは、なかなか良いものもあるので、そのキーワードが</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のどの事業とリンクしているのか、</li> <li>・その財源がどのようになっているのか、</li> </ul> <p>そのような点から関連する部署を通じて探してみるのもいいのでは。</p>	

○次回以降の研究の進め方

岩下)現在の事業がどのようなものなのか、現状を把握する必要がある。

佐藤)各課への聞き取りやアンケートをするためには、何を聞きたいのか等をもっと自分たちが把握しておく必要がある。

小河)最初から細かい内容ではなく、最初は第一次アンケートとして、(市単独・近隣連携・広域〔国・県等〕)のどの形態が良いのかなどある程度の内容で聞いてもいいのでは。

佐藤)広域ですべきかどうかのアンケートは行政サイドの視点になってしまうのではないかと。住民側の目線で考える必要がある。

小河)市民からの目線で考えるのであれば、市民からの寄せられている提言・苦情等を把握してもいいのでは。

かなりの量であるが、現状を分析する上である程度細かい内容を把握できるのではないかと。

和田)コミュニティ構想策定のアンケートはコミュニティ活動に参加している人の意見になっている。

団野)それぞれのアンケートについて、対象者を確認して、何を・何の目的に行ったものなのかを把握しないといけない。

山下)アンケートの項目ごとにそれぞれ分析してみてもいい。

岩下)アンケートの質問内容がわかれば、項目分けができるのではないかと。

団野)ある程度枠組み(答え、目的)を決めてから分析を行うか。

それとも、分析してから枠組みを考えるか。

分析して何を見出すか。 を考えないといけない。

佐藤)項目、業務内容を少しずつ掘り下げて、住民サービスにどう繋がっていくのかを考えていく必要がある。

和田)アンケートから現状の不満、今後の優先課題をまず見つけて、そこから分析を始めてもいいのではないかと。

岩下)分析方法はいろいろなやり方がある。

全員) アンケートの質問項目、結果をもとに分析方法の検討

団野) まず、市民満足度アンケートに絞って分析を試みよう。

現状と今後の課題について、アンケートの質問項目と結果をリンクさせて分析を進めてみよう。

アンケートの質問項目のデータを自治経営推進課からもらい、アンケートの質問項目と結果をリンクさせるフォームを自分が作るので、それに各自担当部分を次回の会議(来週)前までに作成してください。

次回は7月第1週を予定。